



布施だより

《 キズナ Power で広げよう677のえがお 》 ～ 私の、僕のクラスの人権宣言 ～

生徒昇降口を入り、目を上に向けると、20枚の模造紙1枚1枚に描かれた「キズナ Power で広げよう677のえがお」の文字が飛び込んできます。これは4月28日(火)に行われた「人権を考える日」に、一人一人が書き込んだメッセージカード「一人ひとりの人権宣言」を貼り合わせて文字にしたものを20枚つなぎ合わせたものです。



今年の学校グランドデザインに「人権を考える日」の年間を通じての振り返りと人権教育旬間の年2回の実施」が、学校運営の柱2の「互いを尊重し合い、支え合い高め合う仲間作り」の中に具体的に位置づけられています。命のかけがえのなさを慈しむ、この「人権を考える日」をずっと大切にしていきたいという願いがこの掲示につながっています。そしてみんなで考え出したそれぞれの「学級の人権宣言」が20枚の模造紙1枚1枚に書かれています。ご紹介します。

- 〈1年1組…どんな理由があっても、人を傷つけるような悪口やいじめを絶対にしない。〉
- 〈1年2組…一人一人の人権を大切に、男女仲良く明るく楽しい一年二組。〉

<1年3組…いじめの構造をつくらない自覚をもち、一人でいる人がいないように積極的に声をかけます。>

<1年4組…みんなが仲間を大切に、仲良くできるクラスにしよう。>

<1年5組…いじめや差別のない笑顔のあふれるクラスにしよう。

～相手の気持ちを考え、人がいやがる事をしない～>

<1年6組…傍観者にならず、みんなで「SMILE」の種をまこう>

<1年7組…相手にとっていやな事は何か、それを常に考えながら行動しよう。>

<2年1組…ひとりにしない・見て見ぬふりをしない・困っている人を助ける・がまんをせず相談する・仲間を大切にする・苦しめない>

<2年2組…いじめを起こさず、一人一人が支え合えるクラス。>

<2年3組…クラスからいじめを生まないために、クラスでひとつになって傍観者のいないクラスにする。>

<2年4組…伝えよう！ ありがとう がんばれ 大丈夫。>

<2年5組…相手の気持ちを考えて支える いじめを止める（ない 見過ごさない。>

<2年6組…関わり合い、支え合い、思いやりをもって、高め合えるクラス。>

<2年7組…一人一人がいじめをやめさせる勇気を持とう。

～傍観者から支えられる人へ～>

<3年1組…〇仲間の良い姿をたくさん発見する。〇誕生日を充実させる。

〇全ての命を大切に 給食残食ゼロ。>

<3年2組…皆、平等に接し、気づきを働かせてあいさつから会話を広げる。>

<3年3組…One for all all for one

～自らの負の可能性といじめの芽をつくらない！！～>

<3年4組…いじめがあっても仲間を支えられる人になろう！>

<3年5組…しよう思いやり 気づこう思いやり>

<3年6組…全員が相手の個性を理解し、机をぴったりくっつけることが出来るクラスにしてい
く。>

ひとつひとつの「学級人権宣言」を目にしながらか、先にお知らせした5月23日（土）の長野上水内教育会総集会の講演会を思い返していました。 ～ ～ ～

講演は「NPO法人ジョブネットワーク ベル相談室臨床心理士 角田みずぶさん ～ともに生きる 明日をつくる通訳（かかわり）の力～」でした。自閉症の次男「コーヘイさん」を中心とした家族の歴史と現在からの講演でした。「通訳（かかわり方）」という耳慣れないキーワードは「その人の行動を、周囲がプラスのストロークで意味づけてあげる」ことであり、より端的に「肯定的に言葉をかけてあげる」ということだと受け取りました。「通訳者（かかわり方）の心得」として①尊敬心と探究心＝相手をみくびらない謙虚さ、敬意に基づく観察 ②柔軟さとUpdate＝未知への許容と慢心なき更新 ③受け取りやすくする工夫＝生活の言葉を使う。（難解な言い回しでなく）肯定的な言葉がけと関わり。不安にさせない表現と表情（落ち着きと笑顔）

を挙げられていました。

胸にストーンと落ちる「役に立つ通訳」のエピソードとして。ハワイに家族旅行で出かけた際、空港での歓迎ぶりが「コーヘイさん」にとっては非常にうるさく、同行した姉に「うるさいを英語で言うと何？」と聞きます。そのまま訳して伝えれば歓迎に水を差してしまうことを十分知っている姉は「Im Fine!」と教えてあげます。出迎えの人たちに向かって「Im Fine!」と怒鳴った「コーヘイさん」がレイを首に掛けてもらうほどの熱烈歓迎されたことはいうまでもありません。

～ ～ ～

人と人とはその関係性の中で居心地を感じるものです。生徒諸君は、毎日の触れ合いの中でより良い触れ合いと居心地の良さを求めています。それぞれの「学級の人権宣言」の言葉には、その願いが託されています。

ご来校の際、是非目に留めてあげてください。

《 笑 (*^o^*) 顔 ～創立 50 周年記念 航空写真撮影～ 》

50
2015th

5月27日（水）グラウンドで、昇降口前で、全校生徒と先生方が「創立 50 周年記念」を祝って、航空写真を撮りました。真夏の陽差しを浴びながら、目を細めて撮影を待つ生徒たちは、なかなか満更でもないようです。カラービブスを両手で持ち上げて、セスナ機を見上げる生徒たちの口元はポカ～ンと自然に開いて、笑顔がこぼれます。昇降口前に移動しても、カメラマンの方に向かって、胸の前で小さく手を振り、ガッツポーズを取ります。そして撮り終えた後、カメラマンの方に拍手でねぎらって差し上げています。

～ああ、こういう幸せな時間がもう少し続いていてくれればいいのになあ。～

そのただ中にいるときは気づかないのだけれど、いつの日か振り返って、母校が 50 年目を迎えた節目に、熱い陽差しの中に確かに自分たちがいて、仲間たちと同じ時間と空間を共有したのだと懐かしく思い返す時が必ずきます。

それが西中の歴史の積み重ねになり、母校をずっと大切に愛し、想い続けていくことにつながっていきます。そんなことを考えつつ、素敵な撮影の時間を皆さんと過ごすことができました。



県教育委員会より「学校生活相談センター『子ども専用無料相談電話』の開設について」の通知が来ています。お知らせいたします。

県教育委員会内に設置しております「学校生活相談センター」では、不登校やいじめ等様々な悩みを抱える子どもやご家庭からの相談を受け付け、関係機関のご理解ご協力を得ながら支援を行っています。

さて、1学期も中盤を迎え、新しい環境に慣れる反面、子どもの人間関係にも変化が見られるこの時期、下記のように「子ども専用無料相談電話」を開設し、相談体制を充実させてまいりたいと考えております。

記

1 目的

「子ども専用無料相談電話」を開設し、子ども本人からの相談体制を充実させるため

2 実施内容

- (1) 期 間 平成 27 年 6 月 8 日（月）～6 月 26 日（金） ※土日を含む
- (2) 時 間 午前 8 時 30 分～午後 6 時まで
- (3) 内 容 「子ども専用無料相談電話」（TEL 0800-800-7832）

※保護者の相談は、学校生活相談センター（TEL 0570-0-78310）で受け付けます。



《 お知らせ 》

保健室の青木綾香先生がご事情で5月末日をもってご退職になられました。4月に赴任されて2ヶ月間という短い期間でしたが、篠西中の生徒の皆さんが温かく先生を迎えてくれ、気軽に話しかけてきてくれたことに青木先生はとても感謝されていました。出会いを大切にしようとする皆さんの心持ちがしっかりと伝わっていたんですね。

今後の青木先生のご活躍を皆さんでお祈りしましょう。

～ 《 いただきますっ！ 》 ～

給食センターの教室訪問で、5月28日(木)センターの貝沢所長さんと古平栄養士さんがお見えになりました。

狭いコンテナ室の中で、入室と退室を分けて実にスムーズに食缶等を運び出し、教室に戻っても、みんなで協力しながら「いただきます」までの配膳をしている様子に、そしてワイワイやりながら楽しげにカレーを頬張る姿に、給食を提供している者として感謝しています、とお二人は話されていきました。またセンターに戻された食事後の西中のコンテナを開けた瞬間、いかに西中の生徒諸君が気持ちよく食事を取り、返却にまで心を寄せてもらっているかが本当に分かると、コンテナを開ける調理員の皆さんが話されてもいるそうです。

給食委員会の皆さんを始め、生徒の皆さんが〈食〉に関わる諸々に心寄せていただいているお陰です。ありがとうございます。

